



シマウマはなぜ縞を持っているのか？

シマウマの縞模様はやたらに目立つので、肉食獣に襲われやすく、生存に不利に思えます。一部の学者は「あれは目くらましになるので有利なのだ」と主張しますが、野生動物のビデオを見る限り、効果があるようには見えません。ですから、進化の過程でシマウマが「縞」を獲得した理由は、生物学の大きな謎となっていました。

しかし、ここに天才数学者チューリングが登場します。チューリングは動物の皮膚模様は「化学反応が作る波である」という驚くべき仮説を出し、長い時間を経て、その波の实在が証明されています。このチューリングの理論を応用すると、シマウマが縞模様を持っている理由が浮かび上がってきます。そのアツと驚く答えは………会場で。

2011. 1. 10 (月・成人の日)

開場 15:30 開演 16:00

徳島大学蔵本キャンパス内

日亜メディカルホール

(西病棟11階)

入場無料



# 数学が明らかにする動物の模様の謎

近藤 滋 KONDO Shigeru

大阪大学生命機能研究科 パターン形成研究室 教授

事前申し込みは不要ですが、満席の場合は入場をお断りすることもございます。予約席の確保をご希望の方は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、参加人数を下記まで往復はがきまたはお電話にてご連絡ください。

〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学 疾患ゲノム研究センター2階 NPO法人ゲノム徳島事務局 TEL 088-633-9452

本講演会は薬学部の能動学習の対象講演として認定されています。

共催：徳島大学疾患ゲノム研究センター